

## 踏切遮断棹の降下前に列車が踏切を通過した事象の原因と対策

2022年10月30日（日）姫新線岩山駅～新見駅間で踏切の遮断棹が降下する前に列車が通過した事象について、原因が判明しましたので対策とあわせてお知らせします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

### 1 発生日時

2022年10月30日（日）10時02分頃

### 2 発生場所

姫新線 新見駅～岩山駅間 太田踏切（警報機、遮断機あり）

### 3 列車名

上り普通列車 新見（9：53）発 津山駅（11：30）着 1両編成ワンマン

### 3 概況

10時02分頃、上記列車の運転士は太田踏切を通過の際、遮断棹が完全に降下していないのを認めたため、非常ブレーキを使用しましたが、当該踏切を行き過ぎて停車しました。踏切動作状態を調査したところ、遮断棹が完全に降下する前に踏切を列車が通過したことが判明しました。

（付記）

- ・踏切をご通行の方との接触はありませんでした。
- ・上記列車の前後の列車では、踏切は正常に機能していました。
- ・上記列車が踏切を通過する際、踏切警報灯は点滅し、踏切警報音は鳴動していました。
- ・当該踏切のレール面上に付着した被膜をレール研磨して取り除きました。

### 4 原因

線路内の落葉の踏みつぶしによりレール面上に被膜が付着し、正常な位置で列車を検知できなかったためです。

### 5 対策

同様の事象が起こる可能性がある踏切を要注意箇所として管理し、レール面の被膜状態を定期的に点検します。